

Grand Toit News

グラントワニュース

vol. 77
Spring 2024

島根県芸術文化センター
SHIMANE ARTS CENTER
石見美術館
IWAMI ART MUSEUM
いわみ芸術劇場
IWAMI ARTS THEATER

企画展紹介 「本当の美しい暮らしとは？
中原淳一の仕事をふりかえる」

劇場事業紹介 「『ダイバーシティいわみ事業』の
取り組みと今後について」

●特集 企画展「111年目の中原淳一」関連プログラム
「グラントワ・マルシェ 2024」開催！

●「グラントワのおすすめ」
島根邦楽集団定期演奏会
尺八四重奏団「破竹」登場！

ゴールデンウィークも
全日開館！

中原淳一とはどんな人ですか？

『それいゆ』をはじめとした女性雑誌を世に送り出し、雑誌編集をはじめ、ファッション、インテリア、イラストレーションなど領域をまたいで、多くの仕事を手がけたクリエイターです。1935（昭和10）年ごろから戦後にかけて活躍しました。

一人でそんなにたくさんの仕事を
したのですか？ もう少し詳しく
訊きたいです。

自作の創作人形が評価され、人形展を開催したのが19歳の時です。この展示がきっかけとなり、雑誌『少女の友』に挿絵を描くことになりました。西洋的で大きな瞳と細長い手足をもった美しい少女イメージは既存のものを刷新し、当時の若い女性たちに熱狂的に支持されました。1935（昭和10）年1月号から5年以上同誌の表紙を飾りましたが、昭和15年6月号を最後に『少女の友』を降板。戦争へと突き進む時代に、その少女像が当局に不適切なものととらえられたためです。

中原は、雑誌制作に関わった経験から、雑誌や本というメディアの影響力を熟知していました。『少女の友』を辞めるのとほぼ同時に初の単行本『きものノ絵本』

企画展「111年目の中原淳一」について、
担当学芸員の南目美輝さんに見どころをうかがいました。

本当の
美しい
暮らし
とは？
中原淳一の仕事をふりかえる



図1
『きものノ絵本』 1940年 個人蔵

を刊行、そこで『少女の友』に載せることができなくなった少女像（図1）を発表します。

終戦から一年後の1946（昭和21）年8月には女性誌『それいゆ』

を創刊します。「女性のくらしを新しく美しくする」というキャッチフレーズのもと、ファッションやインテリアといった実用的な内容とともに、文学や音楽など

教養に関する記事も併せて載せ、知識や美意識に支えられた「美しい暮らし」を提案しました。

終戦後間もない時期には、通常の暮らしすら厳しかったと思いますが。

そうなんです。困難な状況のなか中原は『それいゆ』に続いて少女雑誌『ひまわり』を創刊しています。中原は自身が主宰する雑誌で、ものがない厳しい時代でも、手元にあるものを工夫して服（図2）やインテリアを自分らしく美しく整えることなど、読者自身が「愉しく」実践できる暮らしの工夫を多数提案しました。さらにまた、雑誌の編集はもちろん、挿絵や特徴的な手書き文字、レイアウトにいたるまで誌面の隅々までディレクションし、雑誌全体で「中原淳一の世界観」を表現しました。

ところで今、中原淳一の仕事を
振り返る展覧会を開催するのは
なぜでしょうか。

ロボットデザイナーの松井龍哉は少女ロボットを作る際に、中原の作品を参照したと言い、その理由として彼の描く少女像が「嫌味なく可憐」「ヨーロッパ志向で、モダン」で「みんなが憧れる世界を作りあげ」ている



図2
木綿の袴のスカート 1955年 個人蔵
撮影：山本康平
© JUNICHI NAKAHARA / HIMAWARIYA 2024

ことをあげています。さらに「クリエイターにはまだ誰にも見えない未来を描くことに対して責任があり、中原先生はそれを見事に成し遂げてしまった」と語っています（本展図録220,221頁）。中原は未来への明確なヴィジョンを持ち、それを表現するために雑誌制作を軸に多彩な活動を行いました。戦後間もない混沌とした時代に「暮らし」という視点から女性にさまざまな提案を行った中原の仕事は、先を見通すことが難しい現在においても、私たちに多くの気づきを与えるはずです。

「いつまでも古くならないもの」
—— それこそがむしろ
もっとも「新しい」ものだといえないでしょうか。
人生はスカートの長さではないのです。

2024年4月20日(土)
—6月17日(月)

【開館時間】9:30～18:00（展示室への入場は17:30まで）

【休館日】毎週火曜日

【観覧料】当日券／一般：1000(800)円、大学生：600(450)円、
小中高生：300(250)円

前売券／企画・コレクション展セット 900円

※（ ）内は20名以上の団体料金 ※小中高生の学校利用は入場無料
※各種障がい者手帳、被験者健康手帳をお持ちの方、およびその介助者（1名まで）は入場無料
※前売券は、ローソン各店（Lコード：63978）、
グラントワ総合案内カウンターで（開館前日まで）お求めになれます。

【主催】島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、朝日新聞社、日本海テレビ
【後援】芸術文化とふれあう協議会 【協力・監修】ひまわりや

島根県立石見美術館

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

中原淳一の
111年目の
企画展



原稿原画「中原淳一プラス集」 1955年 個人蔵 © JUNICHI NAKAHARA / HIMAWARIYA

関連プログラム

オープニングギャラリートーク

本展監修者である中原利加子さんをお招きし、

作品の魅力についてお話いただきます。

講師：中原利加子（株式会社 ひまわりや 代表取締役）

日時：4月20日（土）14:00～15:00 会場：展示室D 参加無料

※企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要

スペシャルトーク

中原淳一のクリエイションから影響を受けたというマツオヒロミさんに、その魅力について語っていただきます。

講師：マツオヒロミ（イラストレーター・島根県出身）

日時：5月18日（土）14:00～15:00 会場：講義室 参加無料

※企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要

MUSEUM×THEATER vol.22

中原淳一が活躍した時代に思いをはせる音楽プログラムを開催します。

出演：かとうかなこ（クロマチック・アコースティック）、

岡崎泰正（ギター）、SIMA（ヒューマンビートボックス）

日程：6月2日（日）会場：「グラントワ」大ホール ステージ上

料金：前売 1,000円／当日 1,500円

※詳細は当館ホームページをご確認ください

家族みんなで展覧会を楽しもう！

子どもWeek! 4月27日(土)～5月12日(日)

上記の期間、小・中学生は観覧無料。

※年齢の確認できるものを持参ください

『ダイバーシティいわみ事業』の 取り組みと今後について

障がいのある無や年齢などに関わらず、芸術文化を身近に感じてもらうとうと様々な取り組みを行う「ダイバーシティいわみ事業」。2021年にスタートした本事業は、地域で活動する実演家やまちづくり、教育、福祉など分野の異なる団体や個人が連携しながら展開しています。劇場と地域とが有機的に繋がりがながら、誰もが安心して表現や鑑賞の場に参加できることを目指す本事業の取り組みについて紹介します。



2023年 にぎやかな学校 (於・餅地柿木)

機会そのものが限られているという地域課題もあります。そのような中、今年4月に施行される「改正障害者差別解消法」や、劇場法でうたわれる芸術文化を通じた「地域コミュニティの創造と再生」を鑑みながら、劇場のもつノウハウと機能を活かし、地域の様々な分野の専門家と連携しながら、石見地域ならではのバリアフリーな取り組みを展開しています。

ネットワークの場と実践の場

2021年に地域とのネットワーク作りの一環としてまちと福祉と芸術文化について考えるオープンミーティングを実施しました。福祉、教育、障がい者芸術活動に関心のある方などが集まり今後石見地域で福祉と芸術文化がどのように関わり合う事が出来るかをみんなで話し合いました。この話し合いから石見では実践の場として音楽会を開催する事になり、2021～2023年

まで継続して音楽会「にぎやかな日々」、出張版として吉賀町で「にぎやかな学校」を実施しました。今年度も地元で活躍されている演奏家と一緒に誰もが安心して楽しんでもらえるイベントを目指して取り組んでいます。

今後の取り組みについて

吉賀町で「にぎやかな学校」を実施した時に感じた事は、様々な理由で劇場に足を運びにくい方々へ文化芸術に触れていただける機会を増やしていきたいという事です。地域の方と交流し地域課題について話し合い、その地域にとって今何が必要かを一緒に考えていくことに今後も取り組み続けていきたいと思えます。劇場だけで考えるのではなく、既に地域で活動をされている方との情報共有を図り、そして共に暮らしていく地域の皆さんと一緒に誰もが安心して参加が出来るイベントを作り上げていきたいと思えます。

地域を取り巻く課題について

いわみ芸術劇場は、多様な方々がホールや地域施設での鑑賞公演や表現の場を楽しめることを目指しています。一方で近隣に鑑賞・体験の場が少なく、人口減少や過疎高齢化などによって



2021年 にぎやかな日々 (於・江津市総合市民センター)



2022年 にぎやかな日々 (於・益田市総合福祉センター)



2023年 にぎやかな学校 (於・餅地柿木)

LIFE with グラントワ

音のピラミッド「グラントワ」

グラントワとの御縁の始まりは東京アーティスツ合奏団の創設者である故山岸宜公氏からグラントワ弦楽合奏団へのセミナーのお話でした。仕事柄遠方まで車で移動するのは慣れていましたが、年に2回大阪から益田までコントラバスを積んで車で行くのは正直過酷な距離で、ある冬の季節には大雪に見舞われチェーンを履いていても容赦なく車

が回転した日もありました。

そんな事もありながら、セミナーの中で団員との信頼関係を築き、コロナの訪れにより島根に指導に行けない時期もありましたが合奏団との御縁は切れる事がなくむしろ強靱なものになっていきました。

私は島根の伝統文化に感銘を受けていて、訪れる度に身の引き締まる思いになります。ドイツ留学を経て身に付いたヨーロッパの伝統的な技術や文化を可能な限り伝えていきたいと考えています。これからのグラントワ弦楽合奏団が奏でるノンフィクションの音を心で感じてもらいたいです。

〔東京アーティスツ合奏団 石川 徹〕

PICK UP EVENT



企画展「111年目の中原淳一」
関連プログラム
グラントワteaガーデン
「フルーツポンチ」
2024年5月19日(日) 10:30～
美術館ロビー

石見美術館では、企画展にご来館いただいたお客様へ企画展にちなんだ飲み物をご提供する「グラントワteaガーデン」を行っています。ふるまう飲み物は、企画展毎にアテンダントが趣向を凝らして準備しています。

今回のグラントワteaガーデンは、企画展「111年目の中原淳一」にちなみ、中原編集の雑誌『ひまわり』掲載の「フルーツポンチ」のレシピをもとにした、冷たい飲みものをご提供します。展覧会と合わせて、お楽しみください。

〔料金〕参加無料(ただし企画展観覧券、またはミュージアムパスポートが必要)
※先着100名(予定数に達し次第終了)

劇・場・を・探・る



【台本】

「台本」とは、演劇・催し物などの進行を書き記したものです。演劇のようなセリフやト書きと言われる動きや状況が書かれているものや、講演会などの催し物の進行をまとめた進行台本があります。台本・進行台本は、出演者や舞台・音響・照明などの舞台技術者や公演に関わる人が共通認識を持って稽古や本番を進めていくために必要なものです。

今回は「仕込み図」です。

島根邦楽集団
第18回定期演奏会
ゲストに尺八四重奏団「破竹」登場！
ジュニア邦楽塾の子どもの演奏も！
邦楽の魅力満載の楽しいステージをお届けします！
2024年 3月3日(日) 開場 13:00 開演 13:30
いわみ芸術劇場小ホール
入場料 [全席自由・税込]
[一般前売] 2,000円 [当日] 2,500円 [高校生以下] 500円
※未就学児入場不可
チケット好評発売中
ゲスト/尺八四重奏団「破竹」

グラントワ弦楽合奏団
第11回 定期演奏会
2024. 3.10日 開場 13:30 開演 14:00
いわみ芸術劇場小ホール
入場料 ※全席自由・税込
[一般] 前売 1,000円 当日 1,500円
[高校生以下] 無料 ※未就学児入場不可
プログラム
●2つのヴァイオリンのための協奏曲 二長調 BWV1043(J.S.バッハ)
●カノン(J.パッヘルベル) ●天国と地獄(J.オッフェンバック)
●アナザー・スカイ(柴加瀬太郎) ●「カルメン」序曲(G.ビゼー)
●弦楽セレナーデ ハ長調 作品48全楽章(P.I.チャイコフスキー)
チケット好評発売中
グラントワでは3年ぶりとなる定期演奏会 皆さまのご来場お待ちしております。

益田糸操り人形
島根県無形民俗文化財指定
グラントワ定期公演
地域で受け継がれてきた伝統芸能、益田糸操り人形。古い形態をとどめた全国的にも貴重な人形芝居の公演を、ぜひグラントワでご鑑賞ください。
2024年3月17日(日) 開場 13:00 開演 13:30
いわみ芸術劇場小ホール
演目 伽羅先代萩 政岡忠義の段 ほか
人形と三味線の解説あり
入場料 [全席自由・税込]
一般 500円(前売・当日同料金) 高校生以下 無料
※無料託児サービスはありません。

企画展「111年目の中原淳一」関連プログラム

「グラントワ・マルシェ 2024」開催！

5/3
(金・祝)

毎年恒例のゴールデンウィークイベント「グラントワ・マルシェ」。

今年のマルシェは、4月20日から開幕する

企画展「111年目の中原淳一」に合わせ開催します。

「グラントワ・マルシェ」を通じて中原淳一の世界を体験してみよう！

ワークショップコーナー～ハンドメイドや、工夫することの楽しさを体験してみよう！

中原淳一は戦中から戦後に、手元にある布切れを工夫して美しく組み合わせて作るスカートや着物などを雑誌で紹介し、服に“自分らしさ”を工夫して加えていく楽しさを提案しました。そんな中原にち



なみ、身近にある物などを使った様々なものづくりが楽しめるブースが出店します。ぜひ“工夫して作る”楽しさを体験してください。

食のコーナー～マルシェ初のキッチンカーも登場！

マルシェの目玉でもある食のコーナー。毎年楽しみにしてくださっている方も多いのでは？今年、戦後現れた移動式屋台から形を変えながら日本に普

及し始めたと言われるキッチンカーが初登場しますよ♪美味しいお料理やスイーツでお腹も心もいっぱい満たしてくださいね。

音楽、ぬりえ、スタンプラリーなどのコーナーも充実！

1951(昭和26)年4月、中原淳一は憧れのパリへ向かいしました。きっと街の至るところでジャンソンなど素敵な音楽が流れていたことでしょう。今回のマルシェでは、中原淳一が過ごした

パリや活躍した時代に流行していた音楽をお楽しみいただけるミニコンサートなども開催予定。他にも、館内を巡って「111」を探すスタンプラリーや、企画展をイメージしたイラストを使ったぬりえコーナーなど、子どもから大人まで世代を超えてお楽しみいただける企画が盛りだくさんです。今年のゴールデンウィークはぜひ「グラントワ・マルシェ」でご家族やお友達と楽しいひとときをお過ごしください！

※内容は変更する場合があります。※掲載の画像はイメージです。

「グラントワ・マルシェ 2024」

2024年5月3日(金・祝) 10:00～15:00 ※小雨決行

[会場]グラントワ中庭広場ほか(入場無料／飲食・物販等は有料)

みき美術館に
よいて

大下藤次郎
《檜原湖の秋》
1907(明治40)年

コレクション展
「海の旅・山の旅
大下藤次郎の水彩画」
5月8日(水)～6月23日(日)
会場:展示室A

コレクション展「海の旅・山の旅 大下藤次郎の水彩画」について、担当学芸員の川西由里さんにきいてみました。

Q1. 旅がテーマということですが、どんな絵がありますか？

明治時代の水彩画家、大下藤次郎は絵になる風景を求めて、日本中、そして遠くはオーストラリアまで旅行しました。「海の旅」では、航海中に目にしたダイナミックな海原や港町の情景を、透明水彩ならではの美しい色彩でお楽しみいただけます。

Q2. 日本国内では、どんな場所に行ったんですか？

登山を愛した大下は、清々しい山々や湖水の写生を多く残しました。穂高山や檜原湖、猪苗代湖などの光景は、一服の清涼剤のように私たちの心を癒してくれます。また、100年前の東京近郊の風景は今と全く違っているのので、「時間の旅」も味わえると思います。

The 石見美術館
わたしのおすすめ
Collection

専門学芸員 左近充直美

白と黒だけで構成される世界は、一見とてもシンプルですが、壮大なストーリー性をはらんでいます。例えばこの作品、横山大観《水温む》を見ていくと、水墨画特有の濃淡のある筆致で溪谷が描かれています。切りたった崖に一筋の滝が見えますが、あたりに人の姿はなく、おそらく普段人が立ち入ることのない山奥の一景だと想像されます。時間帯まではわかりませんが、なんとなく朝のような澄んだ空気が感じられます。厳しい冬が



横山大観
《水温む》
みずぬる

1954年 紙本墨画 当館蔵

終わりに、人知れず春が訪れたことがわかるのは、川から飛び跳ねた一匹の魚の弾む動きと、川面に漂うふわりとした空気の温度感から。日本画は描かれていない部分(紙の白)にも空間を感じさせる手法をとりませんが、本作には、具体的な説明はせずとも「視覚的に感じる」という心地よさがあります。

Grand Toit's
RECOMMENDATION

グラントワのおすすめ



島根邦楽集団定期演奏会

次世代を担う

若手実力派尺八四重奏団

「破竹」登場！

グラントワのフランチャイズ団体である島根邦楽集団の第18回定期演奏会では、ゲストに尺八四重奏団「破竹」を招き、邦楽の魅力を余すところなくお届けします。

「破竹」ゲストステージでは、古典「砂山」からアニメ・時代劇のメドレーなど親しみやすい曲の演奏まで幅広く演奏します。伝統的な和楽器・尺八の楽しさをぜひ感じてください！

今年の定期演奏会のプログラムは、古典「青柳」の演奏で厳かに演奏会をスタートし、川村泰山作曲「夢見草」、石見地域から集まったジュニア邦楽塾の小中学生による「さくらさくら」演奏、後半は「破竹」のゲストステージで盛り上がり、最後に島根邦楽集団創始5周年記念委嘱作品「飛翔」(高橋久美子作曲)で演奏会の幕を閉じます。華やかな邦楽の調べを心ゆくまでお楽しみください！

※公演の詳しい情報は2ページ下の広告欄、グラントワHPをご覧ください。

尺八四重奏団「破竹」

Shakuhachi Yonjyusoudan HACHIKU

鯨岡徹の呼びかけにより、次世代を担う若手実力派尺八奏者4人により2008年に結成。4人の生み出すサウンドは尺八の伝統的魅力はもちろん、尺八の新しい可能性を感じさせ聞く人々を魅了する。伝統的・古典的な尺八の技法を交えながらアレンジされた、ポピュラー、演歌、童謡などジャンルを問わないアンサンブルは「破竹」ならではの楽しみである。より多くの人々に尺八の魅力を届けるため、破竹の勢いで活動中！

あなたのまちで味わう芸術文化

グラントワ 館外公演事業

いわみ芸術劇場の大・小ホール再開後も、文化芸術を楽しんでいただけることを目的に開催します。

鑑賞公演や芸術体験を開催 /

グラントワ アウトリーチ事業

石見地域の学校や地域施設を中心に芸術文化をお届けします。

各公演の日程、会場等の詳細は、決まり次第HP等でお知らせします

Grandtoit 美術館

情報発信 イベント チケットもぎり
グラントワが大好きだという方
ワークショップ

グラントワボランティア会

メンバー大募集！

グラントワの裏側をお手伝いしてくださるボランティアを募集しています。
経験が無くても大丈夫。
すでに活躍中のボランティアスタッフと一緒に、楽しく時間を過ごしませんか？

お問い合わせはグラントワまで
TEL 0856-31-1860

場内案内 発送作業 生花活け込み

劇場 グラントワに興味のある方
Volunteers

石見美術館コレクション展

展示室A

コレクション展 日本美術と詩歌
3月20日(水・祝)～5月6日(月・祝)

コレクション展
海の旅・山の旅
大下藤次郎の水彩画
5月8日(水)～6月23日(日)
※「美術館にきいてみよう」参照

展示室B

コレクション展 白と黒の世界
4月10日(水)～6月2日(日)
※「The Collection わたしのおすすめ」参照

コレクション展 印刷物の中の森英恵
6月5日(水)～7月22日(月)

展示室Bはメンテナンスのため、6月24日(月)～28日(金)まで閉室します。

展示室C

コレクション展 ロシア・アヴァンギャルド
3月13日(水)～5月6日(月・祝)

コレクション展
ファッションプレートと日本の大正、昭和のイラストレーション
5月8日(水)～6月23日(日)

ヴェラ・ロトニーナ
(ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 海上の艦隊)
1929～30年

・(一章)として、葛飾北斎の若き日の作品が展示されていたが、その量に圧倒された。生涯に描いた絵の総数はどれくらいあるのか？(二章)の展示も楽しみだ。(益田市・40代／企画展「石見特別版 永田コレクションの全貌公開(一章)北斎ー春朗期・宗理期」編)
・素晴らしい内容でした。もっと多くの方に見て欲しいし、私もまた見たいです。ありがとうございました。クリスマスイブに、たくさんのプレゼントをいただきました。(山口市・50代／オペラシアターこんにゃく座 オペラ「あん」)
・佐々木さんの朗読と美留町先生のお話、すごく良かったです。特に気に入りは、二女のジャケットのお話し好きでした。遠かったけど来て良かったです。回遊演劇、思いのほかおもしろかったです。(埼玉県・50代／ミュージア vol.21「朗読のタベ 森鷗外のクリスマス」)

Grand Toit & / リレーでコラム 11

山本健夫 (いわみ芸術劇場総務広報課長)

毎号、職員がコラムで繋ぐ「リレーでコラム」。
第11回は、総務広報課長・山本健夫さんです。

私にとってのグラントワと言うと森英恵さんが思い浮かびます。

毎年カーネーションを送ったりしていた母の日のこと。

当時10歳だった私は、「今年はいつもとは違うプレゼントを贈ろう」と百貨店に連れて行ってもらいました。色々と見て回ると、ショーケースのなかの大きな蝶が刺繍されたハンカチに目が留まりました。

金色の糸がとても綺麗で、HANA MORIとプリントされていました。贈ったハンカチを母が使ってくれているのを見る度に、何だか嬉しい気持ちになったものです。

月日が経ち、島根出身のファッションデザイナー、森英恵さんの存在を知ることになります。グラントワが開館すると、美術館に森さんの作品が多数収蔵されることになりました。今こうして働いていると、勝手ながら不思議

な縁を感じてしまいます。

学生時代、演劇に興味を持ったことから、劇場での取り組みも好きです。舞台のある一場面を映像のように覚えていることがあります。息を呑む瞬間、生の舞台の緊張感を気に入っています。

何か人の記憶に残る仕事はすごいな、いつも思います。

グラントワには、美術館でも劇場でも中庭でも、思い思いに人が集います。忘れられない、人に語りたくなる空間を届けられるよう仕事に励みたいと思います。



※画像はイメージです

今回は朝山百合香さん（グラントワ総務担当）の予定です。

報告します！

企画展「建築家・内藤廣 Built と Unbuilt／赤鬼と青鬼の果てしなき戦い」関連プログラム

映画「ハーモニー」上映&スペシャルトーク「未来の都市をどう描く？ 建築×アニメ」



当日の様子

企画展「建築家・内藤廣」に、内藤廣さんが伊藤計劃原作のSFアニメ「ハーモニー」に提供した未来の都市や乗り物のデザインを展示したことにちなみ、11月5日（日）に益田市内の映画館「Shimane Cinema Onozawa」とのコラボ企画を開催。映画の上映後、内藤さんと、当時内藤事務所でこのお仕事を担当された建築家の湯浅良介さん、そしてアニメ制作会社、STUDIO4℃のプロデューサー・田中栄子さんの3人のお話をうかがいました。

アニメ制作の裏側や、お三方のお仕事に対するスタンスなど多彩な話題が展開し、約80名の参加者が興味深く耳を傾けました。

参加者の感想

映画（アニメ）と内藤さんの組み合わせが意外でしたが、想像力を膨らませるという意味では共通するところがあるのだなと思いました。（東京都・40代）

グラントワ・カンタート 2024
街角でもコンサートを開催



歌聖を祀る柿本神社での演奏

2017年から益田と松江で開催してきた合唱の祭典「カンタート」。コロナ禍と耐震工事を経て5年ぶりに全日程をグラントワで開催し、全国各地から22の合唱団、約500名が年始の交通混乱の中、益田に集まってくれました。

1月6日は声楽家や作曲家の本音に触れるワークショップに始まり、井戸端交流会議で年齢や地域を超えた合唱人同士の対話が白熱。柿本神社と萬福寺では街角コンサートが盛り上がりしました。7日のコンサートでは各合唱団が日頃の練習の成果を発揮して心安らぐ、心沸き立つ演奏で拍手を浴びました。また二つの新曲が合同合唱で初演されグラントワ全体に響きました。

参加者の感想

益田にいながら初めて知ったコンサートです。昨日人麻呂神社でたまたま聞いて素敵だったので来ました。また来たいと思います。（益田市・70代以上）

素敵な会場で、皆さんに温かな歓迎を受けて交流や演奏ができ、大変良い機会となりました。（福島県・30代）

地元の合唱団の方との交流や美味しい食べ物、お酒を堪能しました。（茨城県・40代）

グラントワ通への道

Q. グラントワの職員でも知っている人が少ない
建物の秘密があれば教えてください！

A. 「グラントワ（フランス語で「大きい屋根」という意味）」の建物を大きく印象づけている石州瓦でつくられた切妻屋根の鬼瓦には、グラントワ設計者・内藤廣さんの建築設計事務所のロゴマークが入っています。肉眼ではほとんど見えないので知っている人は少ないかも！



読者
プレゼント

石見美術館 企画展
「111年目の中原淳一」
招待券をペア10組様に
プレゼント！



毎号抽選でチケットやオリジナルグッズなどをプレゼントします。
ぜひご応募ください！

■申込方法 ご希望の方は、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、本号の「Grand Toit News」の感想をご記入の上、3月31日（日）までにハガキ（当日消印有効）・FAX・e-mailのいずれかでご応募ください。【あて先】〒698-0022 益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」『Grand Toit News vol.77 読者プレゼント』係・FAX：0856-31-1884・e-mail: g-present@cul-shimane.jp ※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。



Restaurant
Pony

www.restaurant-pony.com/

■営業時間 ※イベントにより変更あり・夜は予約のみ
11:30～16:30 (14:00～カフェタイム)
■店休日 / 毎週火曜日、年末年始
■TEL / 0856-31-1873

中原淳一 111年目の
企画展

復刻デザイン スカーフ 3,850円

期間限定 4月20日(土)
販売 -6月17日(月)

企画展「111年目の中原淳一」にちなんで関連グッズを期間限定で販売いたします。展覧会とあわせてお楽しみください。 ※価格はすべて税込です

復刻デザイン しおりセット 990円

復刻デザイン ポストカード 単品 165円 32枚セット 3,300円

上製ノート「花の日記」 1,870円

MUSEUM SHOP
con amore

■営業時間 / 9:30～17:00
■店休日 / 毎週火曜日、年末年始
■TEL / 0856-31-1874

www.grandtoit.jp/shop/

Follow Us!

最新の情報をいち早くお知らせ



「グラントワ」公式
Facebook



@grandtoit.jp



「石見美術館」公式
Instagram



@iwamiartmuseum



「グラントワ」公式
X



@grand_toit



「グラントワ」公式
YouTube



@grandtoit

「石見美術館」で開催されるバラエティ豊かな展覧会や関連プログラム、「いわみ芸術劇場」で開催されるコンサート、演劇、イベント情報をはじめ、「グラントワ」に関する様々な最新情報を随時更新中。

グラントワ 会員募集中!

「グラントワ」では、3つの有料会員と無料のオンラインチケット会員の制度を設けています。有料会員様には様々な特典のご用意と、毎月郵送で最新情報をご提供します。文化・芸術に触れる機会と時間を増やし、グラントワと共に人生を彩ってみませんか？

有料会員のご入会
お申し込み

「グラントワ」総合案内カウンター（無料オンラインチケット会員のご入会はグラントワHPから）で随時受付中です。各会員の詳しい特典と内容は、グラントワHPをご覧ください。



2024イベント スケジュール 好評配布中!

2024年度に行われる石見美術館の展覧会やいわみ芸術劇場の主な公演情報を手に入れよう。
※全国の提携美術館・主要文化施設で配布しています。

グラントワのイベントスケジュールはHPからもご覧いただけます。
www.grandtoit.jp/schedule/